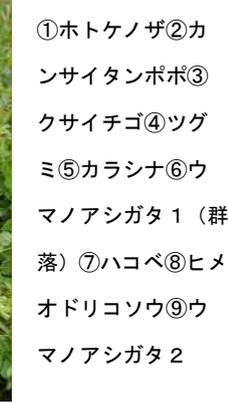


3月 モニターレポート		担当出張所	山崎出張所
担当区間	檜尾川合流点～大阪京都府境（阪急大山崎駅付近）（右岸28.2～35.4km）		
モニター実施日時	令和 2年 3月22日（日） 時間帯：13:00～15:00		
天 候	曇りのち雨		
（見出し）一斉に咲き始めた春の野草。			
<p>ここ数日で非常に暖かくなってきて、さて河川敷はどうなっているのだろうか、と気になっていました。いつもは平日に見に来るのですが、今回は休日の、しかも一番人がいそうな時間帯を狙ってモニタリングしました。案の定、駐車場が車で埋まっています、グラウンドではサッカー教室や野球教室が開かれていました。謎だったボックスは、グラウンドの整備用品が入っていたのですね！</p> <p>今回春の花が咲き始めて、人が多い場所には生えている植物の種類が多く、人が少ないグラウンドとグラウンドの間の道端のような場所に生えている植物種が少ない傾向にあることが明確になりました。人が多く入る場所にはより多様な種子が運び込まれることも、その理由の一つではないかと考えています。</p> <p>さて、上牧付近の、昨年水路となっていた場所に行ってみたところ、架設工事でしょうか、何らかの工事が行われていて水が干上がっていました。昨年訪れたときには、この場所にはゴキヅルという全国で数を減らしている植物が生えていたこともあり、非常に残念でした。工事に水がこの場所に流さないようにしているのでしょうか。仕方がないと思う一方で、この淀川流域のどこかにゴキヅルが残っていることを切に願っております。再び水が入れば、埋土種子が発芽するとは思いますが…。</p> <p>今回の活動で最も印象深かったのは、やはりカラシナの群落が一斉に咲いていた事でしょうか。一面が黄色くなっていて、管理の方に伺うと、先週くらいから徐々に咲き始めており、例年1か月ほど見られるのだとか。このような河川敷にやってきた春を、より多くの地域の方々が感じられればいいですね！</p>			
			
			
			
<p>①ホトケノザ②カンサイタンポポ③クサイチゴ④ツグミ⑤カラシナ⑥ウマノアシガタ 1（群落）⑦ハコベ⑧ヒメオドリコソウ⑨ウマノアシガタ 2</p>			



⑩オオキバナカタバミ⑪カラスムギ⑫グラウンド整備用具⑬上牧北の小グラウンドの様子⑭河川公園グラウンド⑮ナズナ⑯ヤハズエンドウ⑰マツヨイグサのなかま⑱コメツツメクサ⑲シロツメクサ⑳ノゲシ㉑ハコベ㉒ゴキヅルのあった水路跡㉓河川敷で遊ぶ子供たち㉔水路跡の水深計㉕ツルマンネングサ㉖河川公園駐車場の様子

(意見・感想・処置等)

今月もモニター活動、お疲れさまでした。河川敷を彩る色とりどりの植物の写真等、盛りだくさんのレポートとなっていますね。春らしい気候に、子供たちも新型コロナウイルスによる思わぬ休校で、河川敷は良くも悪くも、賑わいが絶えませんでした。不要不急の外出は避けるようにという政府や自治体からの要請もあるので、河川管理者としては複雑な心境ですが、ひとりひとりが感染防止に配慮しつつ、東の間でもリフレッシュとなれば幸いです。

自由使用グラウンドに置かれているボックスについては、おそらく一時的に野球チームの方々が置かれているものと思われます。練習が終われば、持ち帰られるので、現地からはなくなっているはずです。

水路となっていたところの水が干上がっていたとの件ですが、この水路の目的は、鶴殿ヨシ原が干陸化したため洪水時にしか水がのらないので、上流側の淀川本川からポンプで水を汲み上げて鶴殿ヨシ原に水が回るようにしているものです。環境委員の先生のご意見を聞きながら、例年は4月から10月ぐらいまでポンプによる揚水を実施していますが、それ以外の時期はポンプを停止しているため水路の水が干上がってしまいます。水生植物のゴキヅルは、貴重な在来種ですね。地域によっては絶滅危惧種に指定されているようです。環境委員の先生方からの意見を参考にしつつ、在来種に配慮しておりますので、ご安心下さい。

桜開花後ですが、3月末に寒の戻りがあり、この時期、関東の方で1センチ以上の積雪は32年ぶりだそうです。桜に舞う雪というのも乙なものです。また、4月に入っても、新型コロナウイルスの終息には至っていない可能性が高いです。モニター活動の有無については、日々の情勢や体調面を考慮しつつ、活動をスキップする事も見据えて、ご判断下さい。よろしく申し上げます。